

速



北陸中日新聞

報

中日優勝

セ4年ぶり8度目

プロ野球セ・リーグで優勝へのマジックナンバーを「1」としていた中日は一日、二位の阪神が広島に敗れたため、四年ぶり八度目のリーグ優勝が決まった。

中日が二日の最終戦に敗れて阪神が残り試合に全勝すると勝率で並ぶが、直接対決で勝ち越している中日の優勝となる。

落合博満監督は二〇〇四年、〇六年に続く優勝を果たし、中日では初めてチームを三度目のセ・リーグ優勝に導いた。

中日は今季、一時は首位に最大八ゲーム差をつけられたが、充実の投手力を中心に巻き返した。1点を確実に積み重ね、接戦をもににする守りの野球で九月十日に首位に立ち、逃げ切った。

一日、チームに試合がなく、選手、首脳陣は午後ナゴヤドームで練習を行い、広島―阪神戦（マツダ）の結果を待った。

二十日からのクライマックスシリーズ・ファイナルステージでは、同ファーストステージ勝者をナゴヤドームに迎えて戦う。勝ち上がれば、三十日開幕の日本シリーズでパ・リーグの覇者と対戦し、〇七年以来、三年ぶり三度目の日本一を目指す。